

# こくりにゆう だより



大阪府立池田高等学校 2年 浜崎 綾音  
「少しずつ、春の陽気が出てくるころですね。」



## 今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



メディアリテラシー入門

子どもとメディア

3月23日(土)

10:00~16:00

子どもが触れやすいメディアを中心に分析し、その影響について考察する。

講師:田島知之さん(京都府立大学)

登丸あすかさん(文京学院大学)

定員:30名(先着順)

参加費:500円

申込:3月15日(金)までに来館・電話受付  
(保育あり・要申込)

国流シネマカフェ

「あん」

3月23日(土)

17:30~20:00

元ハンセン病患者の女性を通して、生きていく意味を問いかける映画。

定員:30名(先着順)

参加費:無料

申込:来館・電話受付。

おまつり地球一周クラブ

アゼルバイジャンを知ろう!

3月30日(土)

10:00~12:00

アゼルバイジャン出身の講師から同国の話を聞き、ゲームなどを体験する。

定員:15名(先着順)

参加費:300円

申込:3月26日(火)までに来館・電話受付。

## 小学校外国語体験活動 今年度もいよいよ終盤!



授業の様子。  
子どもたちは真剣に話を聞いています



ボランティア研修の様子。  
授業のアイデアをシェアしました

豊中市では、2006年度より市内全41校の小学校の3~6年生を対象に「外国語体験活動」を実施しており、当協会はその受託団体となっています。このプログラムでは英語に限らず、様々な国の言葉や文化を学ぶことが出来、希望の国や言語はそれぞれの学校によるリクエストに応じて事前に打ち合わせを行い決定します。

“先生”となるのは地域に暮らす外国人の方たちで、その出会いを通じて子どもたちは多様な国の文化や言葉を、歌やゲームなども交えながら楽しく学んでいます。今年度実施した子どもへのアンケートには「先生のおかげで韓国が好きになりました」、「とても興味がわいたので自分でも調べてみたいです」、「また絶対来てほしい!」などの感想が寄せられました。また、“先生”として学校へ行き、授業をすることで、見違えるようにイキイキと輝くようになった外国人ボランティアも少なくありません。

今年度は地震や台風の影響で実施コマ数が大幅に減ってしまいましたが、2月末現在で1,130コマの授業を、20ヶ国・地域出身のボランティア45人が実施しました。

今年度も最後までたくさんのお子どもたちと、多文化共生につながる学習をすすめていきたいと思ひます。

## 2019 新春のつどい を開催しました!

1月27日(日)、すてっぷホール(エトレ豊中5階)において当協会主催の「新春のつどい」を開催しました。フィリピン、インドネシア、タイ、ロシアの在阪外国公館、国会、大阪府議会、豊中市議会、豊中市他関係団体から140名を超える方々にご来場いただきました。



140名を超える参加者で  
会場は大賑わいでした!

センターでの取り組みを広く伝え、理解と支援の輪を広げるために開始して、今年で3年目となりました。協会の活動報告、世界各国の料理やダンス、抽選会など、毎年趣向を凝らした企画で、賑やかな交流の機会となっています。

当日は、3月末に明石書店より刊行予定の「外国人と共生する地域づくり〜大阪・豊中の実践からみえてきたもの(仮題)」(監修:牧里毎治、編集:公益財団法人とよなか国際交流協会)の予約販売も行いました。本書はセンター、協会の設立25周年を機に、これまでと現在の取り組みをまとめたものです。3月15日までクラウドファンディングも実施中です。みなさま、ぜひご協力下さい!



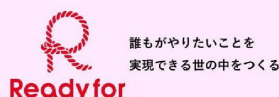
地域のコミュニティによる  
ペルー・コロンビアのダンス

Ready for  
クラウドファンディング  
実施中!!

「豊中市から全国へ!

外国人と共生する地域づくりの実践を1冊に。」

3月15日(金)23:00まで! プロジェクトページはこちらから↑↑



※写真はイメージです

## 「迫力、おいしさ、奥深さをイッキ読み 行こう!大相撲観戦」 (監修・服部祐児/ナツメ社)



元幕内・藤の川が初心者向けに執筆した一冊。大相撲の起源や歴史、土俵の作り方、チケットの買い方に始まり、本場所・地方場所・巡業の見どころや楽しみ方が、ナビゲートキャラクターのガイドでわかりやすく紹介されている。立ち合いや決まり手、行事・呼出・年寄・審判などの裏方の仕事や四股名の由来の解説に加え、懸賞金や会場のしくみ、グルメ情報、朝稽古見学のマナーについての説明がある。メディア情報や相撲用語一覧の掲載もある。どこから読んでも楽しく情報を得ることができ、TV相撲観戦中にも役立ちそうな本だ。

大相撲で活躍する外国人力士たちは、稽古や相撲部屋での生活、本場所への出場を通じて、これらの知識やしきたりを身に付けていく。多くの外国からの観戦者も多い今、日本の相撲について興味を持つきっかけになるかもしれない。

(協会理事・服部圭子)

相談事業から生まれたフィリピン人移住者たち（特に中高年を対象にした）のグループ活動・FYAHC（フィリピン・ヤングアットハーツ・クラブ）。今回は活動参加者であるボンさんにお話を伺い、インタビュー形式で紹介します。

——ボンさんが国流に初めて来たのはいつですか？

2018年のPINOY FIESTA(フィリピンで開催される花まつりに合わせて実施したイベント)ですね。その時に、ヤングハーツ (FYAHC) の活動が色々あることを知りました。年金や生活習慣病のセミナーとか、ZUMBA(フィリピンで人気のフィットネスダンス)の活動もあって、良いなあと思って。

1988年に日本に来て仕事をしながら、やっぱり休日とかに身体も動かしたいと思って、フィリピン人の友人たちとRUMs CLUB (ラムズクラブ・Running Mountain Clubの略) という活動をしていました。マラソンとかアクティビティの大会とか企画したり。ただ、その時はほぼ私が一人で企画・運営をしていたので、一般の参加者が増えたり規模が大きくなると楽しいけれど、負担もどんどん増えていって…。今も細々とはやっていますけど、個人で大きなイベントを主催するのはやめようと思いました。

——新年のつどいではヤングハーツでZUMBAも披露していましたね。

外で身体を動かすようなことばかりしてきているので、ZUMBAも好きです。音楽に合わせて身体を動かすと、それだけでもなんか楽しいですよ。これまで、関西各地にある教会にも行ったことがあるのですが、教会のイベントでダンスをしたこともあります。

ZUMBAもそうですが、ヤングハーツの他の活動も自分にとっては学びが多いので、毎回できるだけ参加したいと思っています。ここに来れば、日本に住むフィリピン人ともたくさん出会える。いつか自分の企画をみんなに提案して、新しいことにもチャレンジしてみたいなあと思います。



Filipino Young At Heart's Club (ヤングハーツ) Bong(ボン)さん

### コラム 「蘇州的随記☆仰望天空(蘇州での徒然日記☆空を見上げて)」(第3回) 柳本 美鈴

ごども母語・スペイン語アシスタントの柳本美鈴さんが、2018年4月より中国に滞在されています。現地に住んでいるからこそ感じること・ものがたくさん詰まった、美鈴さんからの生活便りをどうぞ。

新年快樂 (あけましておめでとうございます) !

中国では旧暦で新年を祝うため、今年は2月5日に新年を迎えました。中国のお正月は「春節」と呼ばれ、盛大にお祝いをします。この時期になると、大半の人は故郷に戻り、家族と一緒に過ごすそうです。

春節前から、町やお店の中は赤一色に染まります。赤色は縁起が良い色だそうで、スーパーのお正月グッズ売り場は全て赤！中国では、新年を迎える前に、年越しに必要な物（食料や新しい服、玄関に飾る装飾品など）の買い出しをして、年が明けると初詣や親せき・友人の家へ挨拶に行き、子どもたちはお年玉をもらう……。あれれ？なんだか、日本のお正月とよく似ていますよね！日本と中国は近い国なんだなあ、私も改めて思いました。

さて、中国の食べ物といえば、皆さんは何を想像しますか？私は、やっぱり餃子です！餃子は、中国で日常的に食べられていますが、日本のように焼いて食べるのではなく、水餃子にして食べるのが一般的。餃子はおめでたい食べ物なので、特に中国の北部では、春節に必ず食べるそうです。私が住んでいる中国南部の方では、餃子の他に、白玉スープを食べて新年を迎えます。

中国は、ものすごく広い国。中華料理と一言言っても、地方によって味付けも料理もさまざまです。中華料理は辛いイメージがありますが、私の住んでいる蘇州の料理は、甘めの味付けのものが多いんですよ。蘇州で有名な料理といえば、まず、「松鼠桂魚」。桂魚という魚に切り込みを入れて揚げ、甘酢の餡をかけた料理です。松鼠=リスを意味する言葉で、形がリスに似ていることから付いた名前だそうです。そして、もう一つ私が好きなのは、「蘇州麵」。細麺に、塩味や薄い醤油味のスープのあっさりとしたラーメンです。この蘇州麵は、安いものだと一杯150円ほどで食べられるんです！麵もたっぷり入っていて、安くて美味しくお腹いっぱいになります。中華料理の中でも、蘇州の料理は日本でもあまり知られていませんが、とってもおすすめです。



ラーメンと蘇州で有名な松鼠桂魚

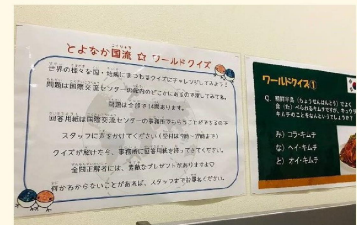
春節に向けた正月グッズ売り場

### 【館内告知】「国流☆ワールドクイズ」を実施中！

12月末より、世界の様々な国・地域にまつわるクイズラリーを実施しています。問題は全部で14問。国際交流センターの館内のどこかに問題文が掲示されています。

回答用紙は事務所でもらうことが出来るので、挑戦したい方はスタッフまでお声かけください。クイズが解けたら、事務所に回答用紙を持ってきてください。解答・解説をお渡しします。全問正解者には、素敵なプレゼントがありますよ！

みなさん、ぜひチャレンジしてみてくださいね！ ※受付時間は9時～17時です。



## 登録グループの活動紹介



### No.15 元気の出る英会話

——「元気の出る英会話」というグループ名ですが、具体的にどんな活動をされているのでしょうか？

田中：基本的にプログラムはコリン先生が考えていますが、今週あったできごとをひとりずつ英語で話しています。自分が英語で話すことも、誰かが話す英語を聞くことも、両方勉強になりますね。

コリン：自分の趣味とか、アクティビティとかね。できるだけ、考えやすいテーマにしようと思ってプログラムを考えています。

——なるほど。他にも英語の活動をしているグループはありますが、このグループらしいな、と思う部分というか、参加される皆さんから見てここが良いな、と思うのはどんなところですか？

飯田：座学や講義という形ではなく日常会話から学ぶことができるので、思ったより参加しやすいですし、楽しいです。

太田：豊中市に引っ越してきて、何か習い事を…と考えていた時に、このクラスの広報を見かけました。ここは通いやすいですし、雰囲気グアットホームなので続いています。共通の話題もあるので会話が続きやすいですね。レッスンみたいに厳しくないのも、続けられる理由かなと思います。

文野：一生懸命考えることはボケ防止にもなりますから(笑)

錦織：私は、通い始めて1年1か月ですね。これまで仕事をしながら、週6時間の英会話教室に参加していたのですが、仕事を辞めたこと

とよなか国際交流センターには、市民による自主的な国際交流活動を支援するための登録グループ制度があります。今回は「元気の出る英会話」で活動する皆さんに、活動内容や国際交流への思いを伺いました。

で、英会話の学習に割ける時間も増えました。例えば、今までは全く理解できなかったCNNの報道なんかを見て、内容だけでなく英語のフレーズの使い方を考えたりするようになりましたね。

——英語を学ぶなかで、今後もっとこんなことしてみたいな、と思うことなどはありますか？

小野：今は映画も字幕付きで見っていますが、字幕に頼らずにわかるようになりたいですね。

原田：ホストファミリーとして、長年留学生と交流しているので、もっと深い内容の話ができるようになりたいなと思います。

田中：このあいだ3週間、留学生をホストファミリーで受け入れたんですよ。100%わかる、というわけではないけれど、なんとか楽しくやりとりができました。



#### 【活動についての問い合わせ先】

団体名：元気の出る英会話

活動日時：毎週木曜日 9:30~10:40、10:50~12:00

問合せ：06-6854-2569(田中)

とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゅうだより」第119号(2019年3月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F

阪急宝塚線豊中駅すぐ

開館時間:9:00~21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も  
配信しています!



SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

